

家原寺 (えばらじ)



写真出典：平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P44 堺市教育委員会

奈良時代(ならじだい)の名僧(めいそう)、行基(ぎょうき)が生まれた家のあとを寺にしたもので、行基が自らつくりました。今は堺市西区にあります。

Q. 行基(ぎょうき)ってだれ？

A. 奈良時代、人々に仏教を広めた人で、聖武天皇(しょうむてんのう)から「大僧正(だいそうじょう)」の位に任ぜられた人だよ。「家原寺(えばらじ)」をはじめ、近畿地方を中心に49の寺をつくった人でもあるよ。

くわしくはこのホームページにある「行基」をみてみよう！

Q. このお寺はどんな人がお参りにくるの？

A. 家原寺は「知恵の文殊(もんじゆ)さん」として知られているよ。入学試験のシーズンになるとたくさんの人々がお参りに来て、本堂の壁(かべ)や柱が「合格(ごうかく)・昇運(しょううん)・祈願(きがん)」と書かれたハンカチで埋(う)めつくされるんだ。毎年1月15日の大とんどは有名だよ。

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

<http://www.city.sakai.lg.jp/renaissance/temple/index.html#ebara>

平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P44 堺市教育委員会